

GS ビッグ データ・ ストラテジー (米国小型株)

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式



**Asset
Management**

DATA INSIGHT

投資戦略に革新を。

(注)「ビッグデータ・ストラテジー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

【三菱UFJ銀行からのご注意事項】

●本ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。●ご購入に際しては、購入時手数料(3.3%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。●ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。●本ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

【金融商品仲介口座を通じたご購入について】

●本ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほか金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。●金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合
お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号

加入協会：日本証券業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・
金融商品あっせん相談センターを利用します。

全国銀行協会相談室：0570-017109 / 03-5252-3772

証券・金融商品あっせん相談センター：0120-64-5005

受付時間：月～金曜日 / 9:00～17:00

(祝日・12/31～1/3等を除く)

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合
お問合せ・ご照会先は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号

加入協会：日本証券業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

加入協会：日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号

加入協会：日本証券業協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

未来のリーディング・カンパニーとなる可能性のある企業が多く存在する米国小型株式市場。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが長年開発に取り組むビッグデータ / AI を活用した革新的な運用モデルを用いて、数多くの企業の中から将来のスター企業を発掘する。

ビッグデータが注目される今だからこそ ——



米国小型株



ビッグデータ/AI(人工知能)*



Asset
Management

ゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント

GS BIG DATA STRATEGY

〈 GS ビッグデータ・ストラテジー 〉

* 詳細は9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

可能性あふれる米国小型株式市場

豊富な投資機会

米国小型株式の銘柄数は、米国大型株式と比べて圧倒的に多く、魅力的な投資機会が多く存在しています。

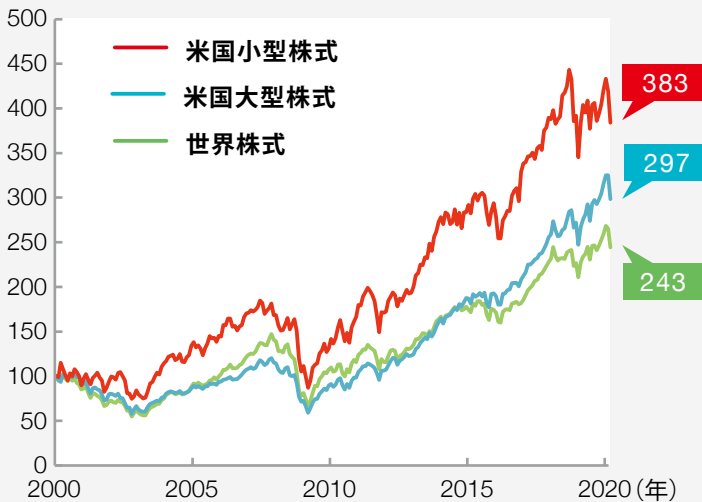
リターンの優位性

長期的に米国小型株式のリターンは世界株式および米国大型株式を上回ってきました。(下図参照)

ビッグデータ/AI分析の効果が発揮されやすい

米国には、小型株式に分類される企業といえども関連するビッグデータは豊富に存在しています。銘柄数が多い小型株式だからこそ、ビッグデータの解析が可能なAIを用いることは有効な投資手法と考えています。

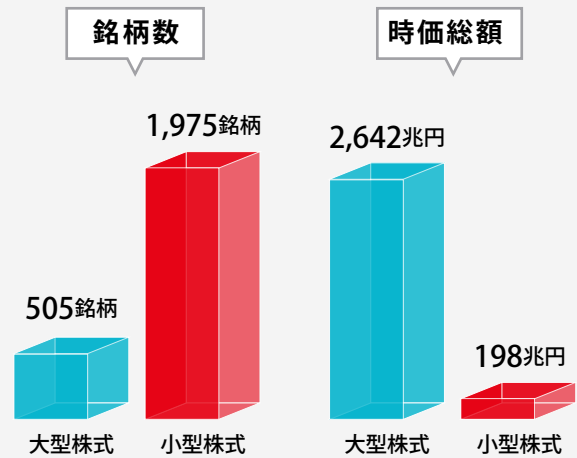
世界株式・米国大型株式・米国小型株式の推移 (米ドル・ベース)



期間：1999年12月末～2020年2月末 1999年12月末を100として指数化
出所：ブルームバーグのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成
世界株式：MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み)
米国大型株式：S&P500 種株価指数 (配当込み)
米国小型株式：ラッセル 2000 インデックス (配当込み)

上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。

米国の大型／小型株式市場の規模別概要



2020年2月現在 1米ドル=107.89円にて円換算
出所：S&P, FTSE Russell
米国大型株式：S&P500 種株価指数
米国小型株式：ラッセル2000インデックス

米国を代表する企業も、最初は小型企業からスタート

- 企業価値を示す時価総額において、業種別のトップ企業を見るとその多くが米国企業であることがわかります。そのような世界のリーディング・カンパニーも最初は小型企業からスタートしています。米国小型株式市場では、次なるリーディング・カンパニーとなる可能性のある優良企業が多数存在しています。

《上場日*の時価総額》

《2020年2月末現在の時価総額》

一般消費財・サービス

アマゾン・ドット・コム

5.6
億米ドル

9,378
億米ドル

情報技術

アップル

15.6
億米ドル

1兆1,961
億米ドル

*アマゾン・ドット・コム：1997年5月15日 アップル：1980年12月12日

出所：ブルームバーグ、アップルのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが算出
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

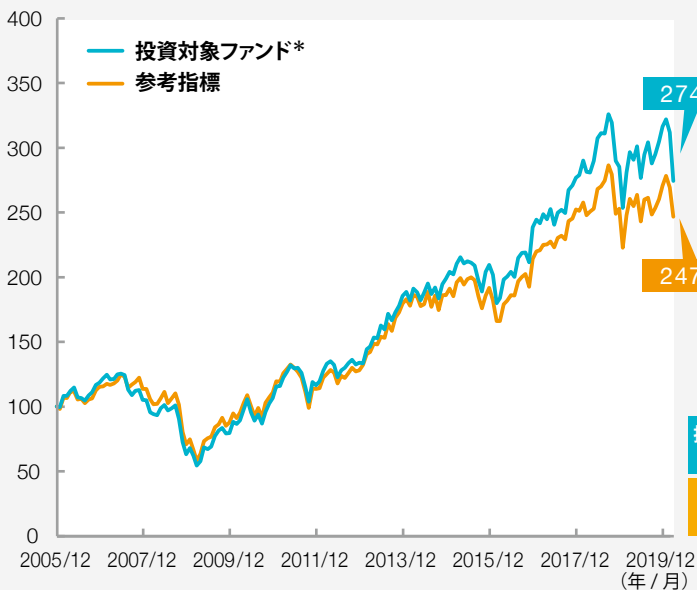
上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものであり本ファンドの投資実績を説明したものではありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。

ビッグデータ／AIを用いた革新的な運用手法により、運用実績の向上を追求する

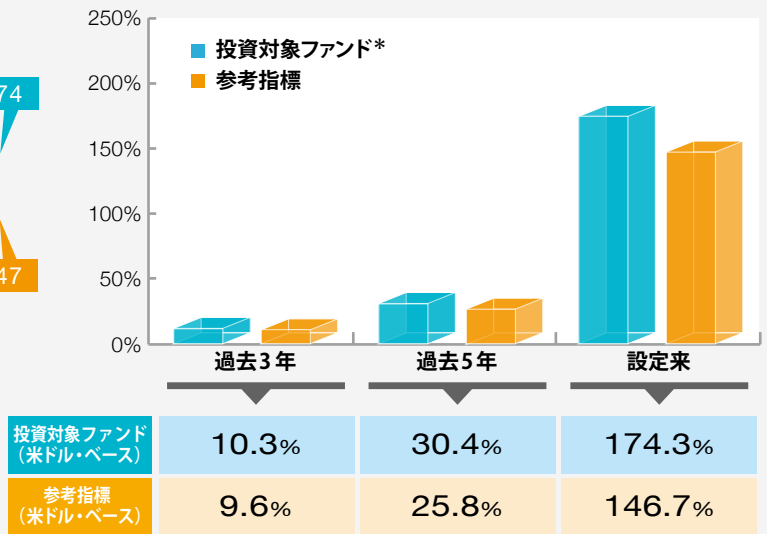
《 GSビッグデータ・ストラテジーを支えるポイント 》



投資対象ファンド*のパフォーマンス (米ドル・ベース)



各期間の騰落率 (累積、米ドル・ベース)



期間：(左グラフ) 2005年12月5日(設定日)～2020年2月末、(右グラフ) 2020年2月末現在
 出所：FTSE Russell のデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメン作成 (投資対象ファンドと参考指標は設定日前日を100として指数化)
 参考指標：ラッセル 2000 インデックス (配当込み)

*本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.- ゴールドマン・サックス US スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ」を指します。上記は投資対象ファンドの過去の運用実績(費用控除前)であり、本ファンドの運用実績ではありません。

上記データにおいては、本ファンドの信託報酬等の諸費用は考慮されておらず、また米ドル・ベースのデータを用いて計算しているため、円ベース、円ヘッジ・ベースのデータとは動きが異なります。為替ヘッジを行うコースでは、ヘッジ・コストがかかることにもご注意ください。
 上記は過去のデータであり、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

《 本ファンドの運用モデルに活用しているビッグデータの例 》

<p>35万件以上の 決算発表議事録</p> <p>1件60分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約120年</p>	<p>120万本以上の リサーチ・レポート</p> <p>1本60分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約411年</p>	<p>5,000万件以上の ニュース記事</p> <p>1件5分で読むと仮定 [8時間労働した場合]</p> <p>人 約1,427年</p>
--	---	---

2018年12月末現在(上記の数値は過去のレポート等を含みます。) 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメン

本ファンドでは、上記に例示したビッグデータ以外にも、多様なビッグデータを活用しています。
 ※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

本ファンドのビッグデータ / AI活用例

□ 企業ニュース

1 5,000 万件以上のニュース記事から >> 市場心理を分析!

メディアに登場する企業関連ニュースは、個別銘柄への市場心理の変化を刻々と反映しています。自然言語処理技術を利用し個別銘柄への市場心理を測定します。



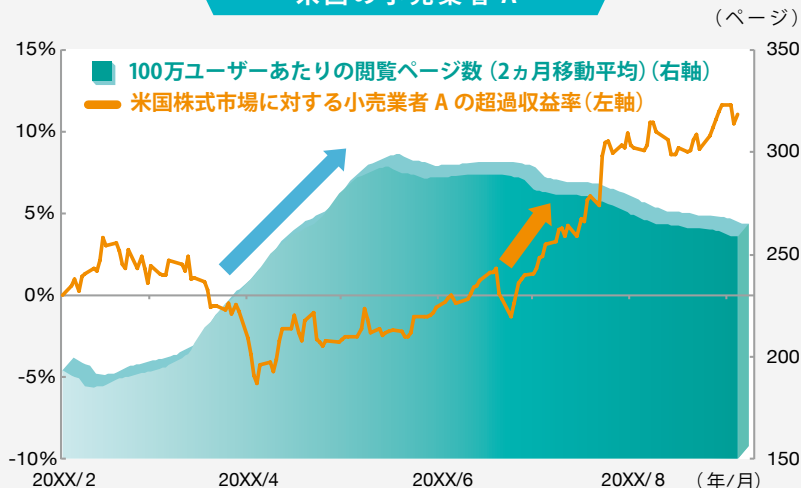
情報を投資判断材料に変換

□ ウェブ・アクセス分析

2 ウェブへのアクセス動向で >> 収益トレンドも予想!

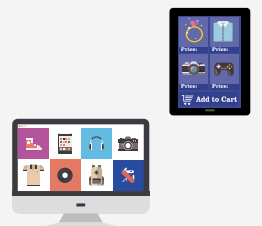
一般消費者向けビジネスを営む企業のウェブサイトへのアクセス動向のトレンドを分析することにより、収益性の予測に活用します。

米国の小売業者 A



小売業などの一般消費者向けに事業を営む企業では、企業ウェブサイトへの閲覧ページ数が増加すると、販売増加に伴い収益性が向上する傾向があります。

ウェブへのアクセス数の変化をいち早く捉えることで、その後の株価トレンドを予測することが可能になります。



出所：アレクサ、ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものです。上記の活用例は今後変更になる場合があります。

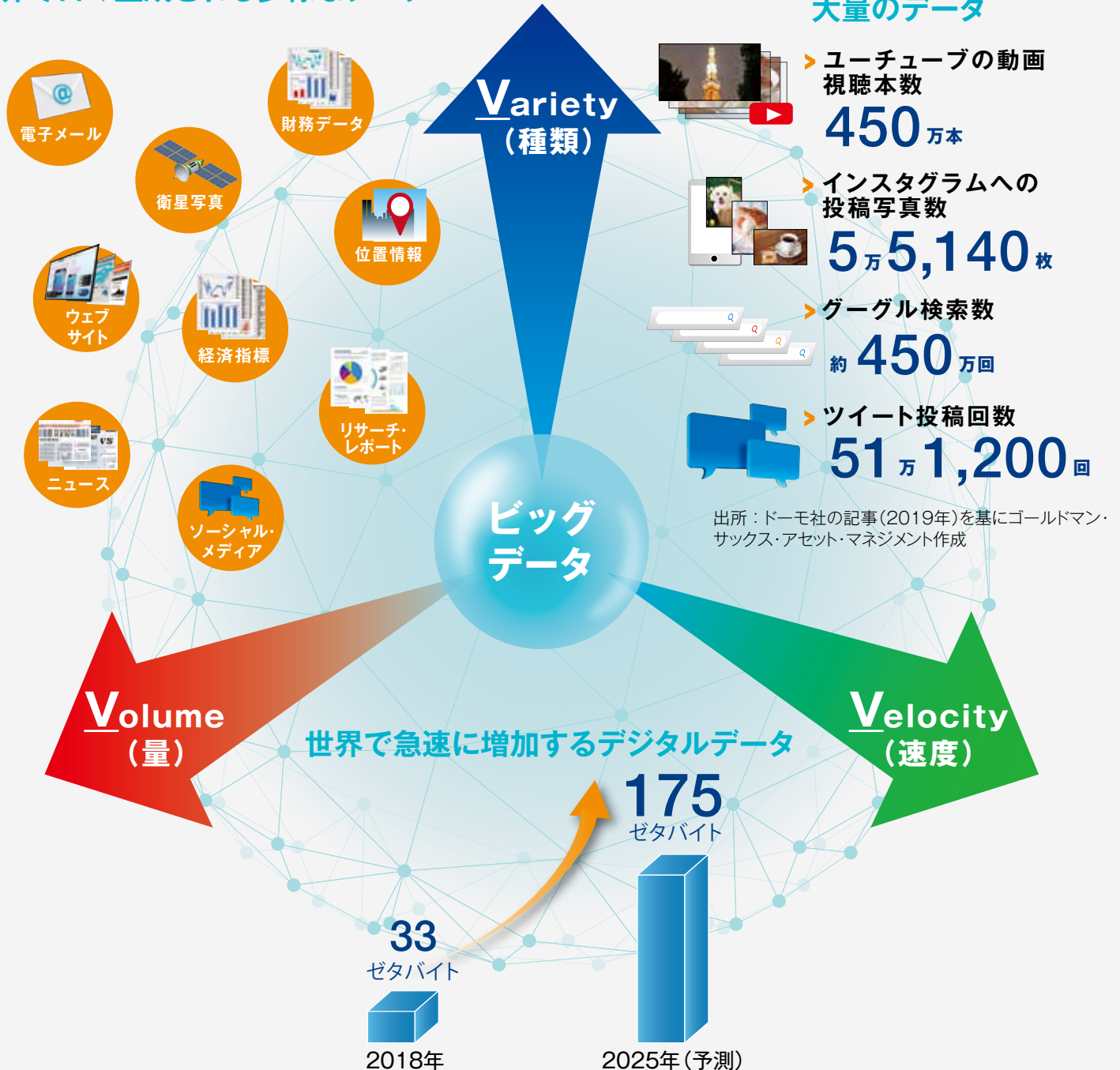
飛躍的に拡大し、増え続けるビッグデータ

現在、生成されるビッグデータは、コンピューターが処理しやすい数値データだけではなく、文章や画像など多様なデータが多くを占めるようになっており、Volume(量)、Velocity(速度)、Variety(種類)の3次的に拡張しています。

ビッグデータは「3つのV」で3次的に拡張

世界で日々生成される多様なデータ

世界で1分間に作り出される大量のデータ



出所：ドコモ社の記事(2019年)を基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

1ゼタバイト=10¹²ギガバイト
出所：IDC「DATA AGE2025 The Digitization of the World From Edge to Core」2018年11月版

上記はビッグデータやAIについて理解を深めるための一般的な情報提供を目的としており、本ファンドの運用を説明したものではありません。

ビッグデータ 時代を加速させる AI

ビッグデータの飛躍的な拡大により、その解析技術としてAIの重要性も高まっています。AIの進化により、これまでのテクノロジーでは解析が難しかった多様なデータを、投資戦略に活用できる時代となりました。

AI(人工知能)とは

- 人工的に、コンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようとする試みや、そのための一連の基礎的な技術のことを指します。
- 人工知能に関連する研究分野には、「機械学習*」や「深層学習*」といった基礎分野と、「画像認識」や「音声認識」、「自然言語処理」といった応用分野があります。

*機械学習とは、データから反復的に学習することで潜在するパターンを発見し、それを新たなデータに当てはめることで、判断や将来の予測を行う技術のことを指します。

深層学習とは、多層構造のニューラルネットワーク(人間の脳の神経回路の仕組みを模したモデル)を用いた機械学習の一種のことを指します。

多様なデータ例①

小売店舗の駐車場の衛星写真

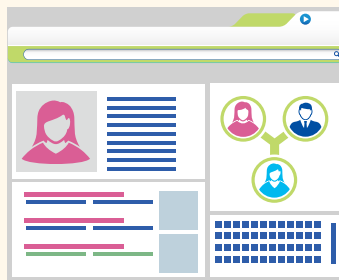
定点観測された駐車場の車の数の変化を追うことで、小売業者の売上高の変化を推測



多様なデータ例②

ソーシャル・メディア

さまざまな情報やニュースが流れるソーシャル・メディアから最新のトレンドを抽出



AIを活用した
自然言語処理により、
文章を読み込む

上記は、例示を目的とするものです。上記写真やイラストはイメージです。

Goldman Sachs Group

Goldman
Sachs

Asset
Management

ゴールドマン・サックス・グループの総合力と革新的な運用ソリューション

Goldman Sachs Asset Management

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

- 1988年の設立以来、世界有数の資産運用会社として、世界の機関投資家、政府系機関、個人投資家向けに約186兆円*の資産を受託
- 約150年の歴史を有するゴールドマン・サックス・グループのノウハウと世界を結ぶグローバル・ネットワークを活用し、お客さまのニーズに対応したサービスを提供
- 世界約30拠点のグローバルな運用体制とリサーチ力

*1 米ドル=109.56円にて円換算 2019年12月末現在

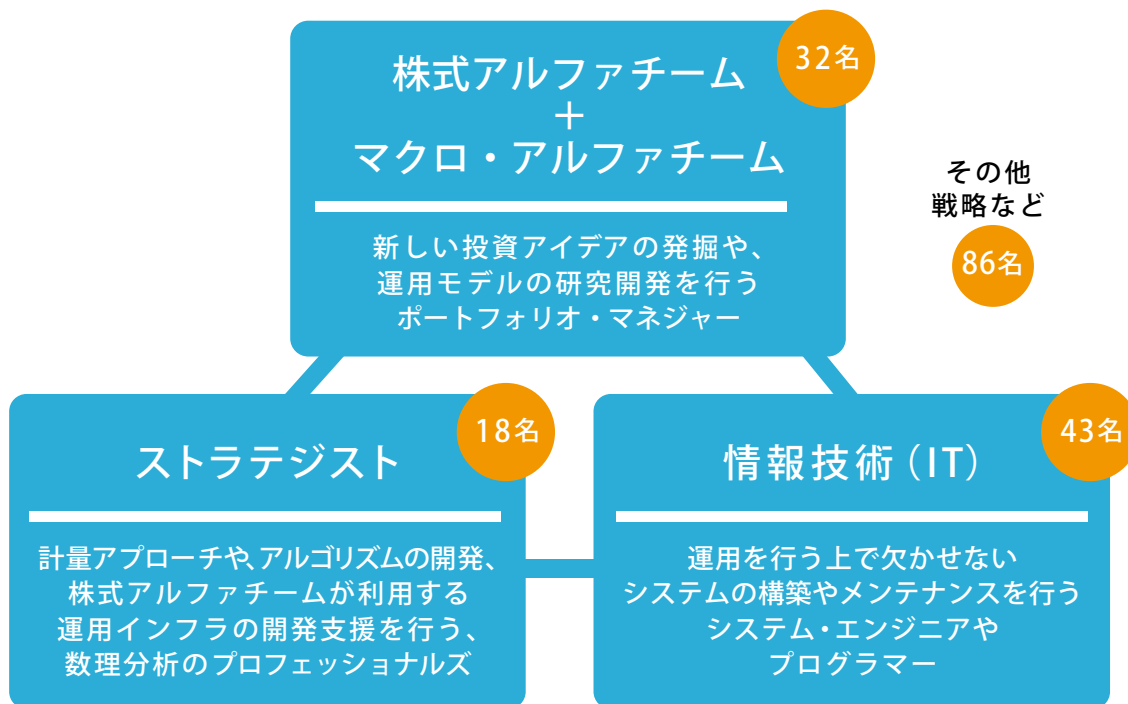
ゴールドマン・サックス ニューヨークオフィス



モデルに携わる専門集団

マネジメント計量投資戦略グループ

充実した運用体制



歴史あるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量株式戦略

- 1989年 米国株式で計量株式戦略を開始
- 1995年 GTAA (グローバル・タクティカル・アセット・アロケーション) 戦略を開始
- 1996年 先進国株式の運用開始
- 2006年 新興国株式の運用開始
- 2008年 ビッグデータ/AIを活用した評価基準を運用モデルに導入開始

新しい時代の幕開け

現在 | 日々ビッグデータ/AIを活用した評価基準を研究・開発・改良し、運用モデルに随時導入

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント「計量投資戦略グループ」とは

約15年

の平均運用経験を持つ

約180名

のプロフェッショナルが

約23兆円

2,069億米ドル、1米ドル=109.56円にて円換算の資産を運用する組織

2019年12月末現在 上記は「計量投資戦略グループ」全体に関するデータです。

ファンドの特色・ファンドの仕組み

POINT 1

米国の小型株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

POINT 2

ビッグデータやAI(人工知能)を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

POINT 3

為替ヘッジありの A コース、為替ヘッジなしの B コースの選択が可能です。

※本ファンドの主要投資対象は米国の小型株式です。運用においてビッグデータやAIなどを利用しますが、ビッグデータやAIなどのテクノロジー関連企業に特化して投資するものではありませんのでご注意ください。

※本ファンドのAコースはラッセル 2000インデックス(配当除く、円ヘッジ・ベース)、Bコースはラッセル 2000インデックス(配当除く、円ベース)を運用上の参考指標とします。

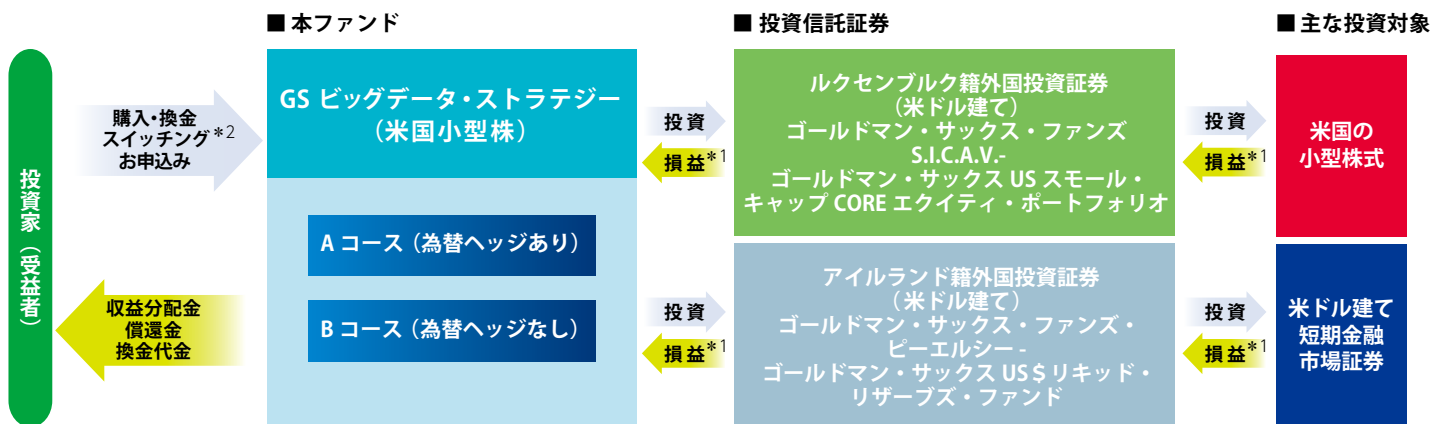
※為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

■ 計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデルでは、投資対象銘柄について、数多くの多面的な評価基準に基づいて評価し、組入銘柄を決定しています。これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブトラフィックなどの非伝統的データも活用されます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントではこれらのデータ(ビッグデータを含みます。)の活用を競争力の源泉とみなしており、近年その利用割合を増やしているだけでなく、そのデータの種類や利用方法も進化しています。機械学習に代表されるAI技術は、一部の評価基準においてデータ分析プロセスで活用され、特にアナリスト・レポートやニュース記事等のテキストデータを読み込む評価基準において活用されます。最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。

《ファンドの仕組み》 本ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用にあたってはゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



*1 損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

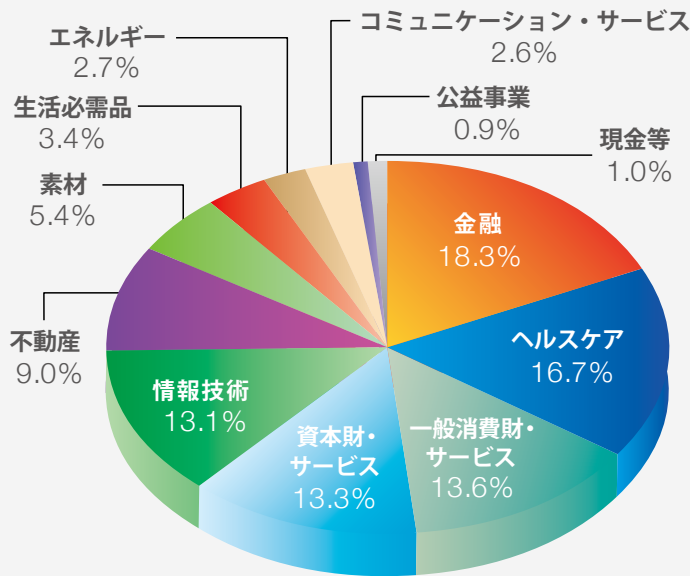
*2 販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。ただし、換金時と同様に税金をご負担いただきます。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

※上記は2020年5月8日現在の組入れ投資信託証券です。投資対象となる投資信託証券は見直されることがあります。この際、上記の投資信託証券が除外されたり、新たな投資信託証券が追加される場合もあります。

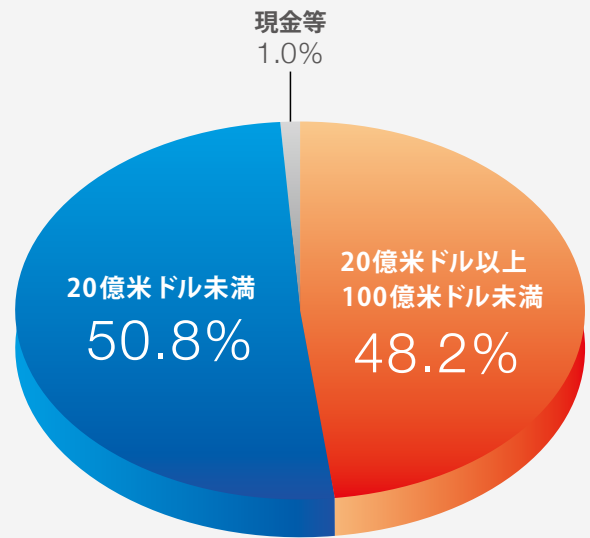
投資対象ファンド*のポートフォリオ概要

□ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

セクター*別構成比率



時価総額別構成比率



*Global Industry Classification Standard (GICS®) (世界産業分類基準)のセクター分類を使用しています。2020年2月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は過去のデータであり、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記の比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

MVPモデルに基づき、評価されたポイントを示しています。
M:モメンタム V:バリュー P:収益性

投資対象ファンド*の組入上位10銘柄【合計370銘柄】

銘柄名	セクター	構成比率	M	V	P
1 レックスフォード・インダストリアル・リアルティ	不動産	0.9%	●		
2 ファースト・インダストリアル・リアルティ・トラスト	不動産	0.9%	●	●	
3 シンプソン・マニュファクチャリング	資本財・サービス	0.9%			●
4 ヘモネティクス	ヘルスケア	0.8%	●		
5 パースペクタ	情報技術	0.8%	●		
6 コジェント・コミュニケーションズ・ホールディングス	コミュニケーション・サービス	0.8%	●		●
7 テレノ・リアルティ	不動産	0.8%	●		
8 インファイ	情報技術	0.8%	●		●
9 レキシントン・リアルティ・トラスト	不動産	0.8%	●		
10 フィジシャンズ・リアルティ・トラスト	不動産	0.8%	●		●

2020年2月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記はあくまでも、過去の一時点における組入銘柄であり、将来にわたって引き続き当該銘柄を保有、または保有しないことを保証するものではありません。また、個別銘柄の売却、購入または、継続保有等を推奨するものではありません。

*本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.- ゴールドマン・サックス US スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ」を指します。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、**基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。**

主な変動要因

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

本ファンドは、米国の小型株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に米国の株式市場の下落局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

小型株式への投資リスク

本ファンドの主な投資対象である小型株式は、大型株式と比べて時価総額が小さく、相対的に流動性が低く、ボラティリティ(価格変動性)が高いため、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。また、換金に対応するための十分な資金を準備できないことにより換金のお申し込みを制限することもあります。

このように、本ファンドは、大型株式など流動性の高い銘柄を中心に市場全体に広く分散投資するファンドなどと比較して、相対的に高いリスクを伴いますので、ファンドの性格をよくご理解いただいたうえでご投資ください。

為替変動リスク

本ファンドは、米国の小型株式を投資対象とする外貨建ての投資信託証券を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利が目安となり、円の金利の方が低い場合、この金利差分収益が低下します)。

留意点

計量運用に関する留意点

本ファンドでは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデル群を用いた複数の戦略が実行されます。ビッグデータやAIの利用を含む計量モデルに従う運用がその目的を達成できる保証はなく、ボトムアップ手法によるアクティブ運用やパッシブ運用など他の運用手法に対して優位性を保証するものでもありません。なお、計量モデルにはビッグデータやAI以外の定量要素も利用されます。計量モデルの改良・更新は継続的に行われており、ビッグデータやAIの利用方法については将来変更されることがあります。計量モデルは仮説に基づき構成されたものであり、モデルにより選択された銘柄や市場動向は必ずしもこの仮説が想定する動きを示さない場合があります。また、ある時点でモデルが有効であったとしても、市場環境の変化等により、その有効性が持続しない可能性もあります。このような場合には、本ファンドの基準価額に影響を及ぼし、本ファンドのパフォーマンスが参考指標を下回ったり、投資元金が割り込む可能性があります。

お申込みメモ (三菱UFJ銀行でお申込みの場合)

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については販売会社にお問い合わせください。

■ お申込みメモ

購入単位	分配金再投資コース(累積投資コース)：1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。再投資される分配金については、1口単位とします。 <u>投資信託口座を通じたお申込みの場合は、上記以外の購入単位でのお取扱いもごございます。くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。</u>
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	<u>投資信託口座</u> ：1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。 <u>金融商品仲介口座</u> ：1口以上1口単位、または全部。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金 申込不可日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日(以下「ファンド休業日」といいます。)
申込締切時間	「ファンド休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、各ファンド1顧客1日当たり1億円以上の大口のご換金は制限することがあります。
購入・換金 申込受付の 中止および取消	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情があるときは、ご購入およびご換金の受付を中止または既に受付けたご購入およびご換金のお申込みを取消す場合があります。
信託期間	2027年8月10日まで(設定日：2017年4月7日) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めた場合は、信託期間を延長することができます。
繰上償還	各ファンドについて純資産総額が30億円を下回る事となった場合等には繰上償還となる場合があります。また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には、信託を終了します。
決算日	年2回(毎年2月10日と8月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。収益分配金は税金を差引いた後、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。 ※分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、定期引出契約をお申込みください。
スイッチング	各ファンド間でスイッチングが可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に換金されるファンドに対して税金をご負担いただきます。 くわしくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。 配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の譲渡益が課税の対象になります。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額 × 購入口数) × 3.3% (税抜: 3.0%) で得た額 ※インターネット取引でご購入の場合は、上記購入時手数料率から 10%優遇となります。
	スイッチング手数料	ありません。
換金時	換金手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率 1.5675% (税抜 1.425%) ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率 0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- **委託会社** (信託財産の運用の指図等を行います)
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
- **受託会社** (信託財産の保管・管理等を行います)
三井住友信託銀行株式会社
- **販売会社** (本ファンドの販売業務等を行います)
[投資信託口座を通じたお取扱いの場合]
株式会社三菱UFJ銀行
[金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合]
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関：株式会社三菱UFJ銀行)

※収益分配金に関わる留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断できる情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。



**Asset
Management**